

「脱炭素スクール」第1期生の修了式



1年間脱炭素について学んだスクールの修了者ら＝豊田市小坂本町の豊田商工会議所で

豊田 中小企業の経営者ら出席

豊田市内の中小企業の経営者らが企業での脱炭素対策を学ぶ「市脱炭素スクール」の第一期生の修了式が二十七日、同市小坂本町の豊田商工会議所で開かれた。

ゼロカーボンシティの実現に向けて、市が昨年十月から開講。十六社が今年九

月まで、二酸化炭素削減対策や脱炭素化に向けた事業計画の作り方を学ぶ十回の講座に参加した。

修了式では、安田明弘副市長が修了証書を受講生に手渡し「企業での脱炭素化のけん引役となってほしい」と激励した。

修了式後には受講生のうち五人が成果を報告。自動車部品などの製造を手がける市川鉄工所(同市宝町)の市川暢啓社長は、スクールを通じて社内の消費電力量を減らす計画を立てたことを発表した。工場内でコンプレッサの配管を調整することで、本年度三カ月間の消費電力量が昨年度同期比で24%減ったという。市川社長は「スクールをきっかけに、会社として大きな一歩を踏み出すことができた」と話した。(簗下千晶)

茶南 アピタ安城東
グエルサウオーク西尾 園
製造元